

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度福祉会館運営委員会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	議 題 1 令和 6 年度各福祉会館事業及び予算執行状況について （報告）（公開） 2 令和 7 年度各福祉会館事業計画及び予算について（公開） 3 福祉会館主催事業の在り方について（公開） その他 1 令和 6 年度集会所利用状況及び予算執行状況について （公開） 2 令和 7 年度野田市集会所歳入歳出予算について（公開）
日 時	令和 7 年 6 月 2 6 日（木） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 5 分まで
場 所	野田市役所 2 階中会議室 1 及び 2
出席者氏名	委 員 赤尾 和雅 荒木 理子 木村 亨 近藤 昇次 近藤 博雄 須賀田 恵美子 山田 喜美子 事務局 小林 智彦（福祉部長）、中村 恵子（生涯学習部生涯学習 課長補佐兼生涯学習振興係長兼副主幹）、武田 真弓（人 権・男女共同参画推進課長）、高塚 和枝（人権・男女共同 参画推進課長補佐兼啓発係長）、西村 和芳（人権・男女共同 参画推進課谷吉会館長）、山崎 覚（人権・男女共同参画推 進課七光台会館長）、松沢 修（人権・男女共同参画推進課 島会館長）、町田 長之（人権・男女共同参画推進課関宿会 館長）
欠席委員氏名	福田 昭治 村田 弘信

傍 聴 者	1 人
議 事	令和 7 年度福祉会館運営委員会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
高塚人権・男女共同 参画推進課長補佐	令和 7 年 6 月 2 6 日午後 1 時 3 0 分、開会を宣言。 本日の会議について出席委員及び欠席委員を報告し、過半数の委員の出席により会議が成立していることを報告する。 会議録作成のため録音機を使用することについて了承を得る。会議に非公開の議事がないことから公開であることを説明し、あらかじめ、ホームページにおいて公開の会議であることを周知していることを報告する。傍聴の申し込みがあり、既に入室していることについて了承を得る。 本日の配付資料、送付済み会議資料の差し替えについて確認をする。 関係教育機関の委員に変更があり、団体からの推薦で村田弘信委員が新たに委嘱されていること、任期が令和 8 年 3 月 3 1 日までとなることを報告する。 福祉部長の挨拶を求める。 <挨拶> 今後の議事進行は、野田市立福祉会館設置及び管理に関する条例第 1 4 条第 1 項の規定により委員長が議長を務めることになっており、木村亨委員長に議長を求める。 議題 1 「令和 6 年度各福祉会館事業及び予算執行状況について（報告）」について、事務局へ説明を求める。 <資料に基づき、令和 6 年度各福祉会館事業及び予算執行状況を説明> ※事業は各会館長、予算執行状況は谷吉会館長が説明。 事務局からの説明について、意見及び質問を求める。 関宿会館を利用しているが、こども食堂が急にできていたが、これはいつ決まったのか、内容はどのようなものなのか、利用している人数について教えてほしい。
小林福祉部長	
高塚人権・男女共同 参画推進課長補佐	
木村議長（委員長）	
各福祉会館長	
木村議長（委員長）	
荒木委員	

町田関宿会館長	関宿会館のこども食堂は、今年1月の第3土曜日からオープンしており、18歳未満のお子さんは無料で食事ができ、18歳以上の大人は1食300円となっている。 今年の1月から今月の第3土曜日まで休みなく、時間は11時半から1時まで実施しており、NPO法人が運営している。利用者数は大人を含めて40人から50人くらいであると聞いている。
荒木委員	食材の調達もNPO法人が行っているのか。
武田人権・男女共同参画推進課長	関宿会館は貸館として調理室を利用いただいております、こども食堂の食材調達をはじめ管理や運営については、NPO法人が実施している。
木村委員	会館事業で行っている生活上の相談事業にある家庭の相談とは、どのような内容なのか、人権に関するものなのか、全ての会館にあるので伺いたい。
山崎七光台会館長	以前に、相続に関する相談を受けたことがあり、市で実施している弁護士相談を紹介したことはある。
木村委員	6年度に1件あるが、その内容のことか。
山崎七光台会館長	6年度の1件は別の内容で、過去に相続の相談があった。
木村委員	他の会館も同じような相談内容か。
松沢島会館長	島会館では11件の相談を受けており、その内、家庭に関する相談は、御家族が認知症であることや高齢化による悩みの相談が多く、例年、同様の相談がある。
木村委員	他の会館も同様か。
西村谷吉会館長	谷吉会館についても、同様に相続に関する相談が半数で、その他は、携帯電話やスマートフォンの使い方などの相談があった。
松沢島会館長	全ての会館における家庭の相談で、人権問題や人権侵害についての相談は特になかった。
木村議長（委員長）	他に意見及び質問を求める。

	<意見及び質問なし>
各福社会館長	意見及び質問がないため、次の議題2「令和7年度各福社会館事業計画及び予算について」事務局に説明を求める。 <資料に基づき令和7年度各福社会館事業計画及び予算を説明> ※事業計画は各会館長、予算は西村谷吉会館長が説明。
木村議長（委員長）	事務局からの説明について意見及び質問を求める。
赤尾委員	全館が行う予定の人権学習会は、2月になっているのはなぜか。講師や受講対象者について詳しく聞きたい。
松沢島会館長	各会館の6年度の事業報告で資料の（2）教養文化活動事業の2番目の項目に、人権学習会の5年度と6年度の事業内容を報告しており、講師については、記載されている方である。受講対象者は、近隣自治会の方や会館利用者になり、周知方法は、各会館によって異なるが、自治会内で回覧する場合や自治会長にお願いする場合もある。
木村委員	自治会によっては、その日だけ参加する方もいるということか。
山崎七光台会館長	自治会の回覧によって、その日だけ参加する方もいる。
木村委員	内容については、全て人権に関わるものか。
山崎七光台会館長	人権にもいろいろな意味があり、基本的に人が生きること自体も人権になる。会館利用者は高齢の方が多く、人間らしく生きることや健康的に生きることを目的としている場合もあり、各福社会館の講師の方にはテーマを作ってもらっている。会館によっては、自治会からの依頼で実施することもあり、無償でお願いできる講師を探す場合もある。
木村委員	2月に実施する意図はあるのか。
山崎七光台会館長	会館のスケジュール上、教養文化活動事業で実施する教養

赤尾委員	講座が毎年、連休明けの５月から１月又は２月にかけて年間のスケジュールが終了するので、終了を見計らい人権学習会を実施しているのが現状となっている。
武田人権・男女共同参画推進課長	応急手当を学ぶことが人権とは思えず、少し抵抗を感じる。２０１７年に人権三法が決まり、差別というのは同和とかＬＧＢＴとかそういうことを言うのである。報告では応急手当や消防署を呼んだ防災の話であり、これが人権なのかと思う。 赤尾委員のおっしゃるとおり、人権という形では、法律に基づき行っているところもある。先ほどの館長からの説明にもあったが、地域の方や利用者の方にも分かりやすく伝えたいということもあり、教養講座の開講式や閉講式で啓発事業として説明している。会館という学びの場で、まずは参加していただき、人権教育や啓発につながればと考えている。
木村議長（委員長）	人権・男女共同参画推進課においても、人権教育や啓発を進めなければならないと計画の中で定めており、正式な学習会や講演会を平行して開催していくこととしている。 ここでの人権学習会というのは、会館の利用者や地域の身近な方を対象に意見を伺いながら必要なテーマについて学習会を実施しているもので、人権三法に合致していない部分もあるが、人権教育や啓発につなげていくきっかけ作りという形で参加していただいているという目的もある。
荒木委員	資料の事業内容の冒頭部分に、福社会館自体が各種相談事業、人権問題の解決のための各種事業とともに高齢者の教育の向上、レクリエーション等の場の提供、高齢者の心身の健康増進を推進していくような施設であると捉えることができる、という意味合いとして理解する。
松沢島会館長	各会館で行われている高齢者を対象にした避難訓練は、定期的に行われているものなのか。 各会館とも避難を誘導する必要があるので、シルバー人材

荒木委員

センターが派遣している火曜日の担当の方も含めて、年に2回、避難訓練を実施し、消防に報告を届け出ている。また、会館を利用している方全員を対象にすることは難しいので、その日に利用されている方には、可能な限り参加のご協力をいただき、避難口や消火器の場所を確認してもらい、誘導訓練を行っている。

関宿会館の周辺のところの水害について、家の2階まで水没するところがあり、逃げ場がなくなってしまうので水害対策のお願いをしている。

関宿会館の屋上に行けばいいとは思っているが、子供がいた場合どうすればいいのか話題になったことがある。会館によっては高いところに建っているところもあり、避難方法が違うと思うが、詳しく教えてもらいたい。

小林福祉部長

防災については大きく分けて地震と水害があり、荒木委員の意見は川の氾濫など水害の場合のことだと思うが、地震と違い水害は、ある程度予測ができる状況にある。台風がこれから来る場合、降雨によって水位が上昇するまでに事前に避難するという防災対策になっている。

皆様には、災害があった場合にどのように動くのか、いわゆるタイムテーブルというのがあると思うので、自宅で作成していただき、避難状況を把握していただきたい。

以前、関宿地区の施設は、ハザードマップができたときに避難所を全部なくしたことがあった。現在は、避難する余裕があるならば避難所へ避難していただき、また、水位が上がるようであれば、水の来ない別の避難所に避難していただくというような計画になっている。

地震は突然起こるが、洪水に関してはある程度予想がつき災害が起きるまでの間に避難をしていただくことが水害対策の基本になっている。

関宿地区は、ほとんどの場所がハザードマップ上で着色さ

	れている状況にあるが、避難が難しいのではなく、その前にどこか避難してしていただく。市役所のエレベーターにもポスターが掲載されているが、「避難とは難を避ける」というもので避難所に行くだけでなく、例えば親戚の家に行くとか他の地域に行くとかというのも一つの方法で、各個人のタイムテーブル上で進めていただければと思う。急に水が入ってきてすぐに逃げなくてはならない垂直避難というものもあるが、まずは安全な場所に避難することが始めになるということについて御理解いただきたい。
木村議長（委員長）	他の意見及び質問を求める。 <意見及び質問なし> 意見及び質問なしにより、議題（２）について了承とすることで御異議はないか。 <異議なし> 御異議がないようなので、議題（２）「令和７年度各福祉会館事業計画及び予算について」了承する。
武田人権・男女共同参画推進課長	次に、議題（３）「福祉会館主催事業の在り方について」事務局に説明を求める。 <資料に基づき、議題（３）「福祉会館の主催事業の在り方について」説明>
木村議長（委員長）	大きく分けて、教養講座の内容に関するものとふれあいまつりの２つに捉えることができる。 委員はいろいろな形で福祉会館に関わっていると思うが、福祉会館に対する御意見や御感想について、すぐに対応できるものではないと思うが、委員から一言ずつ伺いたい。 まず、自分から、講座は通年開催でないといけないものなのか伺う。

武田人権・男女共同 参画推進課長	講座の内容にもよると思うが、例えば手編み講座の場合、回数を経て完成を目指すので、回数としては１３回や１４回といった設定である。スマホ講座も、初級の基本的なところから始めて応用に至る。ふれあいまつりで発表する講座もあり、１０回から１４回の間で回数を設定している。
木村議長（委員長）	講座は年間をとおして行われるので定員を超過した場合は、キャンセルが出ないと次年度の講座まで申込みをする機会がない。これが、例えば半期とか前期・後期であれば参加できなかった人が優先的に受講することはできる。
武田人権・男女共同 参画推進課長	仮に年間１４回でなく７回・７回で２チームを作れば、広く講座の受講生も受け入れできるのではないかという御意見として、今後検討していきたい。
木村議長（委員長）	委員の皆さんが日頃から感じていることを伺いたい。山田委員から順に意見を伺う。
山田委員	自分は七光台と谷吉で太極拳を月に２回、年間では１４回指導している。講座では筋肉を使いバランスをとることをしているが、１週間空くと筋肉が元に戻ってしまい、先週指導したことが頭に入っていないと言われる。できれば、初年度は、基本となる講座を修了して、次年度はより段階を上げた講座内容で指導したい。毎年、初心者の方が参加して初心者のための講座を行っているが、音楽を使い、実際には皆さんと楽しく行っている。自分としては年間１４回よりも７回を続けて実施していただきたいと思っている。
議長（委員長）	講師の立場からの御意見をいただいた。次に須賀田委員に意見を求める。
須賀田委員	自分は、高校の部活で長い間茶道を教えているが、講座の種類を見ると茶道や書道がある。書道は、家で子供たちに教えているが、受講者は高齢者が多いのではないかと思う。島会館では民謡をやっているようだが、自分は、自治会館で「えんがわ」を利用してカラオケといきいき体操をしてい

松沢島会館長	る。資料では、カラオケが入っておらず、先生を探すのが難しいと思うが、高齢者の方は楽しいのではないかなと思う。 以前、島会館と七光台会館ではカラオケ講座を主催していたが、コロナをきっかけに開催がなくなった経緯がある。どちらも人気が高く、40人から60人の方が講座を受講していたが、3密により対応できなくなった。その後は、新しい生活様式の中でサークル活動として、島会館では20人程度の団体が活動しているが、新しく入りたい場合も人数制限をしている状況が続いている。カラオケを主催講座としてほしいという要望はないが、希望がある方には、サークルの方を紹介させていただいている。
近藤副委員長	講座の定員オーバーの件については、自分も聞いており、前半と後半に分けてもらうなどの対応をとれば参加できる人数が増えるのではないかと考えていた。また、七光台会館ではパソコン講座を主催しているが、こういう場があれば自分も早く慣れておきたかったと思っている。本格的な講習ではなく、初心者向けのものがあるとありがたい。 また、自分はお囃子^{はやし}保存会に参加しているが、少子化の影響で子供たちが少ない。今まで参加したお子さんのきょうだいの小学生2人が参加しているのが現状である。以前の参加者は成人しているが、お祭りには参加いただいている。
西村谷吉会館長	以前に谷吉会館の隣の子ども館で和太鼓の練習風景を少し拝見する機会があった。このお囃子^{はやし}の練習の場を申し込んだのは、子ども館なのか福祉会館なのかお聞きしたい。
近藤副委員長	谷吉会館では実施していない。子ども館から聞いていないが、何かイベントがあったものだろう。 5月下旬の頃に1回聞いて、サークルなのかなと思った。
山田委員	自分の家族などが子ども会に行って、太鼓の練習を毎日やっている。テープの曲を使って一生懸命太鼓をたたいている。
近藤副委員長	今は笛を吹けない人が多く、テープの曲を流している。

山田委員	昔の子供たちは今はもう成人しているが、お祭りになると心が騒ぐので一緒になって練習している。このような光景はとてもすばらしいと思っている。
近藤副委員長	最近の子供がとても少なく、募集してもなかなか来ない。親御さんが一緒に興味をもってくれる家があればいいと思う。保存会でも募集ではなく声かけをしている。それでも増える見込みがなく減る一方で、自治会も子供会もなくなっている。回覧で募集してもまだ少ない状況なので、大人たちも興味をもってくれれば違うのではないかと考えており、お
武田人権・男女共同 参画推進課長	はやし 囃子保存会でも努力していきたいと思う。
赤尾委員	近藤副委員長の意見のとおり、谷吉会館と関宿会館は子ども館が隣接しているので、協力体制を検討していきたい。
武田人権・男女共同 参画推進課長	Wi-Fi は福祉会館の全てに設置されたのか伺う。
赤尾委員	5 年度の予算で事業報告させていただいたが、市では公共施設に Wi-Fi を設置する方針が策定されており、防災上のため等を目的として設置されているところだが、パソコン講座やスマートフォン講座で活用したり、サークル活動でも利用したりしている。例えば、体操の動画を見ながら活動したり、音楽を流したりということもある。
武田人権・男女共同 参画推進課長	なぜ、そのようなことを聞いたかということ、5 月 21 日に西町集会所で関宿高校の新任教师に対して同和教育についてお話をしたが、残念ながら西町集会所には Wi-Fi が入っていなかった。先生たちはパソコンを持ってきたが使えず、一生懸命、手書きで書いていて、人の話は半分以下だったのではないか。集会所に来ている中学生はみんなパソコンをもっているが、Wi-Fi がないので宝の持ち腐れになっている。集会所にはどれくらいを目処に考えているのか教えてもらいたい。
	先ほど申し上げた野田市公共施設公衆無線 LAN 整備方針の中で目的としては大規模な地震とか異常気象のときに固定電話とか携帯電話が使えない場合でも通信量が不測の事態に

	ならないような形の通信手段として設置されたことが大きな目的なので、関宿複合センターで言えば、避難所になっていることも踏まえて設置されているところであり、全部の施設を順番に整備するということは今のところ計画にはなっていないことを御理解いただきたい。ただ、自治体もDX時代でありAIなどの活用が進んでいるところもある。現時点の整備方針では目的が利便性ではなく、防災を対象として設置されているところなので、西町集会所にいつ頃設置されるかは今のところお答えできない状況である。
赤尾委員	了解する。また、以前に小中学校生たちが中心になって関宿会館のお祭りで和太鼓を行っていた。すごく良くて、おじいさんやおばあさんが手拍子で喜んでいた。去年やってもらいたかったが残念なことに、館長が申込みに行ったときには小中学校の子供たちの予定があわずにできなかった。今年は和太鼓パレードを実施してもらえようをお願いしたい。
武田人権・男女共同参画推進課長	赤尾委員のいうとおり学校もいろいろな事業が細かく決まっていて、なかなか新規で入るところも難しいと思うが検討させていただく。
木村議長（委員長）	要望ということでお願いする。荒木委員に意見を求める。
荒木委員	自分はお礼を言いたい。関宿会館でいろいろな講座があるのは知っているが、特にお料理に関心がある。調理室の外にある棚にレシピ集が置いてあり「ご自由にお持ちください」と書かれていて、時々頂いて参考にしている。優しくとても料理がしやすいと思っている。
近藤委員	福祉会館ふれあいまつりについて人手不足と書いてあるが七光台も10年前と全く違って、以前は2,000所帯以上あったが、今は1,000を少し切っている。10年前は、会館ふれあいまつりも9自治会から1自治会で15人くらいは応援に出ていたが、今は5、6人しかいない。 テントも10個くらい設置するが、テントの数は前と同じ

木村議長（委員長）

だが人がいないので人手不足になっている。館長も大変だと思うが、集まった人は皆一生懸命やっている。

人手不足については、自治会もこれからどうしようかというところまで来ている。それでも会館ふれあいまつりを楽しみにしている人は多く、焼きそばや豚汁についても量を減らしていないので、楽しみにしている人は大勢いる。役員が少なくなったというのは身にしみてよく分かる。これから10月のまつりに向けて、七光台自治会連合会で8月、9月に集まり、このような話は出ると思うが、今まで実施しているものは継続したいという気持ちがある。

他のところもそうだが、負担になってくると継続することが難しい部分もある。自分も現職で学校に行っているが、学校の運動会も様変わりした。丸1日かけて実施を省力化することで午前中に終わりにするとか、内容を含めて種目数を減らしている。どこかで変えていかなければ、人手不足を解消することは難しい。

退職校長会での話で、今年の小学校1年生が1,000人入学しているとのことだった。昨年、生まれた0歳児のお子さんは700人で、これから転入が増えれば別だが、ゆくゆくは300人減ることになる話をしていた。思い入れもあるかと思うが、工夫をしながらできるものと省くものを考えていなければならないと思うので、この福社会館の事業も今後、運営が難しくなると思う。

例えばWi-Fiはお年寄りが使えるものは限られている。パソコンやスマホに興味がある方は使っているが、興味のない人は意識が向かない。なのでそこに繋がるような何かの講座を設けてみてはいいと思っている。

私は、マイナンバーカードの更新の際に、窓口で手続きが面倒なので自分で写真を撮りデータを入れパソコンから申し込んで、3分程度でできた。約3週間後に市役所から通知が

武田人権・男女共同 参画推進課長 木村議長（委員長）	届き、パソコンから申込予約をして、その時間帯に来れば交付され10分間程度だった。事務的なものはある程度合理的にできるが、分からない人はなかなかできない。きっかけとして講座を設ければWi-Fiを使えると分かってくる。 もう一つは、高齢者が詐欺にあわない、自宅に電話がかかってきたときに慌てないような防犯対策として、自分だけ被害にあわないだろうと思っていてもあってしまうので、そのような講座も需要があるのではないかと思う。学校にはパソコンが配布されているが、福祉会館には事務以外の予備などか配置されているか確認したい。 利用者が使用できるパソコンは配置されていない。 少しでもパソコン機器があれば、講座で活用しながら自分で必要だと思うきっかけになればいいのかなと感じた。今の小学生は1年生からパソコンなどを使い、タッチパネルでどんどん操作している。ゲーム感覚で楽しくやると理解しやすいと思うので工夫してほしい。 議題（3）について他に意見及び質問を求める。 <意見及び質問なし> 事務局においては、本日の意見を参考に工夫して進めていくことを要望する。 次に、4 その他の（1）の「野田市集会所に関する報告」について事務局に説明を求める。
中村生涯学習課長補佐	<野田市集会所に関する報告について、資料に基づき①令和6年度集会所利用状況及び予算執行状況について②令和7年度野田市集会所歳入歳出予算を説明>
木村議長（委員長）	事務局からの説明について、意見及び質問を求める。

武田人権・男女共同 参画推進課長 木村議長（委員長）	<意見及び質問なし> 意見及び質問なしにより、報告了承とする。 本日の議題は全て終了したが、ほかに何かあるか。 本日の議題について各委員からいろいろな御意見や御提案を頂いたので、今後の福祉会館の事業に活用しながら検討していく。今後も地域における福祉とコミュニティの拠点施設として役割を達成するための取組を引き続き進めていくので円滑で適切な運営について御協力をお願いする。 以上をもって全て議題が終了した。 午後３時５分閉会を宣言する。
--	---